

受託・共同研究推進事業

1. 目的

森林技術センターが国、独立行政法人、地方公共団体、公益法人、大学もしくは公設試験研究機関、または林業・林産業界の団体もしくは企業等と受託研究、共同研究および受託調査を実施し、産業界の振興に寄与することを目的とする。

2. 受託研究事業

企業及び公益法人から研究を委託されて実施する研究事業。

課 題 名	概 要	担当者	研究期間	委託元
カメラトラップ法（RESTモデル）によるニホンジカ生息密度推定	奈良県内に調査地を複数設定し、糞塊法とカメラトラップをスギ・ヒノキ人工林および落葉広葉樹林で実施する。カメラトラップ法（RESTモデル）で推定された生息密度がカメラトラップの設置環境でどう異なるかを評価し、カメラトラップ法（RESTモデル）の技術的な信頼性を高めることを目的とする。	青 山 若 山	R6～7	（公財） 北村森林 保護財団

ほか 合計 10 件

3. 共同研究事業

森林技術センターが他機関と連携して実施する研究事業。

課 題 名	概 要	担当者	研究期間	共同研究機関
半炭化処理木質舗装材の高度利用技術開発	半炭化処理による木質舗装材の試験施工後における劣化状況評価、施工コスト精査、及び製品の商業的価値を評価し、地域における半炭化処理木質舗装材の普及を目指す。	増 田 大久保	H30～	（国研） 森林総合 研究所 など
保存処理木材の耐久性調査試験	当センター明日香実験林において、杭試験及びダブルレイヤー試験により、保存処理木材の耐久性を調査する。	増 田 大久保	H23～	日本木材防 腐工業組合

合計 2 件